



STOP！ コロナクラスター

～介護を守り、医療を守る～プロジェクトのご報告

認定 NPO 法人 福山シンフォニーオーケストラ 理事長 松岡 巖
NPO 法人 えがおのまちづくりステッキ 代表理事 猪原 健

平素は当 NPO 法人の活動にご協力、ご理解を賜り、誠にありがとうございます。

皆様におかれましては、2021 年 1 月現在、感染拡大が続くコロナ禍において、心休まらない日々が続いておられることと拝察いたします。

昨年は、私どもが実施いたしましたクラウドファンディング「緊急支援：介護現場に広島産ガウンを #介護を守り医療を守る」プロジェクトに、ご寄附を賜りまして、誠にありがとうございました。

以下、プロジェクトの実施状況について、ご報告させていただきます。

1. 本プロジェクトの背景

我々の NPO 法人には、医療関係者が多数関わっており、当初より、新型コロナウイルスの国内感染拡大を大変危惧していました。特に介護現場においては、感染予防が適切に行えない要介護高齢者が多く、さらに十分な人的リソースや感染防護具も乏しい状況であり、ひとたび感染が発生すると、瞬く間に感染が拡大する恐れがあります。介護現場でのクラスターは、地域の医療資源を圧迫し、ひいては「医療崩壊」と呼ばれる状態に至る可能性を懸念していました。そんな中、2020 年 3 月、広島県三次市において、大規模な介護クラスターが発生しました。残念ながら、何名の方が命を落とされました。

この介護クラスターをきっかけに、福山市内の介護現場に感染対策の知識を提供し、必要な感染防護具を提供するため、市内の医療従事者、企業経営者等が立ち上がり、我々の NPO 法人が主体となって、「STOP！ コロナクラスター #介護を守り医療を守る」プロジェクトを開始いたしました。

2. クラウドファンディングで「広島県産のガウンを届ける」

まず、福山市等と連携し、市内の介護福祉事業所の感染防護具の充足状況について調べたところ、飛沫感染の予防に必要である「プラスチックガウン」がほとんど備蓄されていないことがわかりました。ガウンは、今まで介護現場で使用する機会があまりなく、海外からの物流自体も止まっており、価格も著しく高騰しました。今後、物資が入手できても、コロナ治療最前線の医療機関に優先的に配布されると予想されました。

しかし、介護現場での感染予防には、必要な物資です。

 人手が「無い」 ギリギリの数のスタッフで介護にあっている	 お金が「無い」 経営的に余裕がなく物資に投下する余力がない	 経験が「無い」 防護具の使い方などはふだん馴染みがない
---	--	--

感染対策という観点では、多くの介護事業者が厳しい環境に置かれている

本プロジェクトの協力医療機関である脳神経センター大田記念病院は、「無いものは作るプロジェクト」として、広島県内の製造業者と連携し、広島県産のプラスチックガウンを開発製造していました。このガウンを、着脱方法の指導を含めて、介護現場に届けられないかと考えました。広島県産のガウンを使うことで、介護事業者の感染予防にも活用できるだけでなく、広島県内の製造業の支援にも繋がると考えました。

そこで、READYFOR のクラウドファンディングを利用し、本プロジェクトの資金を集めることといたしました。

READYFOR のサイト： <https://readyfor.jp/projects/ppefukuyama>

クラウドファンディングは 2020 年 5 月 15 日から 6 月末まで実施しました。目標額である 1,500 万円には届かなかったものの、多くの方々からご賛同いただき、867 万円の寄付を頂戴いたしました。

ご協力いただいた皆様、誠にありがとうございました。

3. 実施内容

いただいた寄附をもとに、第二波以降の市内の感染状況を勘案し、支援内容の再検討を行いました。当初は、福山市内の約半数の事業所に、コロナが発生した場合に使用する1か月分のガウンを配布する計画としていましたが、クラウドファンディングの達成率や、介護事業所ごとに必要枚数が異なること、また、クラスターが発生した介護事業所にガウンを集中投下するほうが効率的と考え、以下を実施しました。

(1) 市内全ての介護福祉障がい事業所に「着脱練習用ガウン」を送付

福山市内の全ての介護福祉障がい事業所485か所（同一法人は1か所に送付）に、着脱練習用の簡易ガウンを送付しました。

ガウンを使用する際、着脱（特に脱ぐこと）が難しいため、各施設で練習いただくことを目的としました。ガウンの着脱方法については、脳神経センター大田記念病院が作成した動画のURLを添付し、参考いただきました。

(2) 感染対策研修会の実施

2020年11月20日、福山市医師会講堂にて、介護福祉事業者を対象とした感染対策研修会を実施しました。

市内から20名の介護従事者が参加しました。研修会は感染予防に配慮し、広い会議室の中で行われました。

脳神経センター大田記念病院の仁科利文氏による感染対策の知識提供と、実際にガウンを着脱する練習を行いました。参加者には、外国人介護士の方もいらっしゃり、「ガウンを着たの初めてだったが、着脱について理解することができた」と話され、多くの参加者から好評をいただきました。

研修会の内容は、YouTubeに公開し、市内の介護従事者の皆様に閲覧可能にしています。

YouTubeのアドレス：<https://youtu.be/ZQd5SS-iM20>

(3) ガウンの備蓄スキームの構築

福山市社会福祉協議会、福山市地域福祉貢献活動協議会のご協力を得て、市内6か所の協力介護施設に、合計1万枚の広島県産ガウンを備蓄することができました。

これにより、クラスターが発生した介護事業所に集中的にガウンを使ってもらうことが可能となりました。今後介護クラスターが発生した場合には、福山市社会福祉協議会、福山市保健所等が連携し、ガウンを有効活用いただく予定です。

4. 後援いただいた団体様・寄付団体様

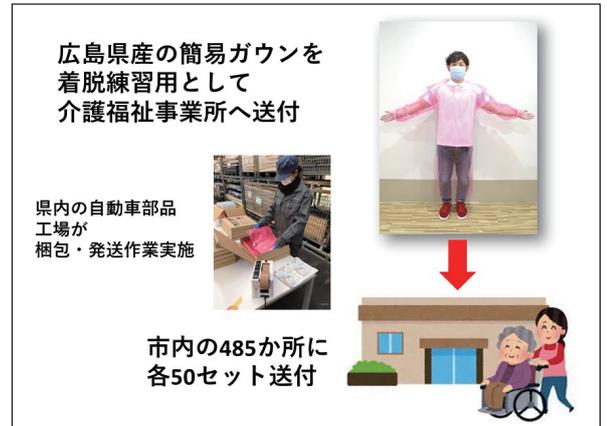
本プロジェクトには、以下の団体様（敬称略）からの後援をいただきました。

福山市医師会、広島県歯科医師会、広島県看護協会福山支部、広島県老人福祉施設連盟、広島県介護支援専門員協会、広島県訪問看護ステーション協議会、全日本病院協会広島県支部、広島県理学療法士会、広島県作業療法士会、広島県言語聴覚士会、福山在宅どうしよう会

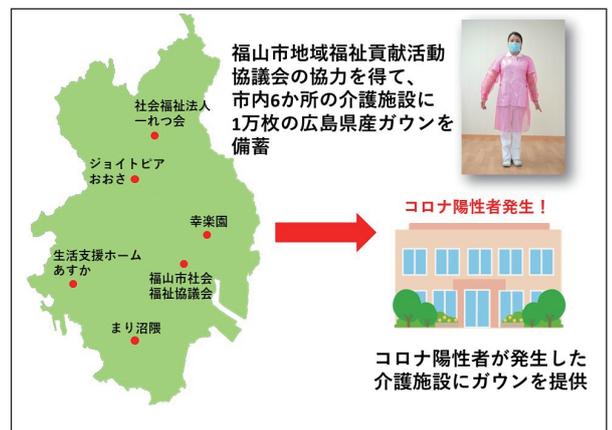
また、以下の団体様（敬称略）より、寄付を賜りました。

株式会社エフピコ、株式会社プレひまわり、株式会社エブリイ、UZUMEN

皆様のご協力、誠にありがとうございました。
介護クラスターを防ぎ、人々が安心して生活できる福山を維持できるよう、これからも尽力してまいります。



11月20日、福山市医師会講堂にて、介護福祉事業者を対象とした感染対策研修会を実施
ガウンの着脱練習を行う



【プロジェクト事務局】

〒720-0824 広島県福山市多治米町 5-28-15

NPO 法人 えがおのまちづくりステッキ

(猪原歯科・リハビリテーション科内) 代表理事 猪原健

084-959-4603 dr.ken.inohara@gmail.com